

京都大学新聞

学生団体
京都大学新聞社
〒606 京都市左京区吉田
大宮町1-10-1
電話(4)8111 (9)9142(掛)
電報(4)8109
(4)京大新

平和運動再生をめざす 広島で反戦集会開く

デモ十一人の逮捕者出す

広島県平和教育会(代表 藤野武雄)が、八月十五日(原爆の日)に、広島市中央公会堂で、平和運動再生を期して、反戦集会を開いた。藤野代表は、原爆の日を前に、平和運動を再生させ、平和を達成するまで、断続的にデモを行うと宣言した。集会には、約五百名が参加した。藤野代表は、原爆の日を前に、平和運動を再生させ、平和を達成するまで、断続的にデモを行うと宣言した。集会には、約五百名が参加した。藤野代表は、原爆の日を前に、平和運動を再生させ、平和を達成するまで、断続的にデモを行うと宣言した。集会には、約五百名が参加した。



全国学生反戦委員会
広島市労働会館の会場

西イリアン探検へ

生物 今秋から四年がかり

東京大学農学部(部長 岡田清)が、西イリアン(西アフリカ)に探検隊を送る。探検隊は、今秋から四年がかりで、生物学的な調査を行う。探検隊のリーダーは、岡田部長である。探検隊は、今秋から四年がかりで、生物学的な調査を行う。探検隊のリーダーは、岡田部長である。

撤去直前に全焼

元工部部鉱山冶金学教室
去月11日、元工部部鉱山冶金学教室の建物、全焼した。この建物は、元工部部鉱山冶金学教室の建物であり、去月11日に全焼した。この建物は、元工部部鉱山冶金学教室の建物であり、去月11日に全焼した。

府学連 学連再建を討議

九月冒頭に定期大会
府学連(府立大学連合会)が、九月冒頭に定期大会を開く。この大会では、学連再建を討議する。府学連(府立大学連合会)が、九月冒頭に定期大会を開く。この大会では、学連再建を討議する。

「日貨」を売買

再開を期す
「日貨」(日本貨物)の売買が再開される。これは、戦後の経済状況を改善するための措置である。再開を期す。

異板

学生運動
学生運動に関する異板。これは、学生運動の現状や今後の展望についての記事である。

学長選挙権 拡大を要求

職組 要望書を手渡す

東京大学学生職組(代表 佐藤一)が、八月十五日、学長選挙権の拡大を要求する要望書を、学長に手渡した。職組は、学長選挙権の拡大を要求する要望書を、学長に手渡した。

四派で全自代

十一月開議
全自代(全日本学生自治会連合会)が、十一月に開議される。この会議では、四派による議論が行われる。

平和運動論の確立を

基盤になる学連再建
平和運動論の確立を基盤にする学連再建。これは、平和運動の理論的基盤を確立し、学連再建を目指すという主張である。

学生運動

学生運動の現状と展望。これは、戦後の学生運動の現状と今後の展望についての記事である。

職員選挙権

拡大を要求
職員選挙権の拡大を要求する。これは、職員選挙権の拡大を要求する主張である。

破滅した原水禁運動

第1回 原水禁世界大会をみる



原水禁世界大会は、八月十五日(原爆の日)に、東京で開催された。この大会には、約五百名が参加した。大会では、原水禁の重要性が強調された。

宙にういた大衆

社 共 主導権争いに終始

原水禁運動は、共産党と社会主義者の主導権争いに終始した。これは、原水禁運動の歴史を振り返る記事である。

歴史の証人

大逆事件再審

大逆事件(大逆無道)の再審が、八月十五日に開始された。これは、戦前の大逆事件に関する再審である。

弾圧黙認の俗習生む

明治史を書き直すか

明治史(明治の歴史)を再評価する動きがある。これは、戦後の歴史観を反映した動きである。

職員選挙権

拡大を要求
職員選挙権の拡大を要求する。これは、職員選挙権の拡大を要求する主張である。